

音楽科学習指導案

日時：平成21年9月8日（火） 5校時
学級：八幡平市立田山中学校
3年A組 11名（男子6名 女子5名）
場所：音楽室
授業者：教諭 高橋 宏 治

- 1 題材名 楽器の音色、旋律、強弱と曲想とのかかわりを感じ取って音楽を聴こう
教材 連作交響詩「我が祖国」より『ブルタバ』 スメタナ：作曲

2 指導内容

本題材は、新学習指導要領における共通事項ア「音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成などの音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じること」と、B鑑賞の指導事項（1）ア「音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを理解して聴き、根拠をもって批評するなどして、音楽のよさや美しさを味わうこと」のうち、以下の点について焦点化を図って設定する。

- 楽器の音色、旋律、強弱のそれぞれの要素の特徴とそれらの要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じること。
- 楽器の音色、旋律、強弱のそれぞれの要素の特徴とそれらの要素同士の関連によって生み出される曲想とのかかわりを理解して聴き、根拠をもって批評すること。

3 題材の目標

- （1）楽器の音色、旋律、強弱のそれぞれの要素の特徴やそれらの要素同士の関連と曲想とのかかわりに関心を持ち、意欲的・主体的に鑑賞する。
- （2）楽器の音色、旋律、強弱のそれぞれの要素の特徴やそれらの要素同士の関連と曲想とのかかわりを感じ取る。
- （3）楽器の音色、旋律、強弱のそれぞれの要素の特徴やそれらの要素同士の関連によって生み出される曲想の変化を理解して聴き、そのよさや美しさを批評文として人に伝える。

4 題材について

本題材は、新学習指導要領におけるB鑑賞の指導事項（1）ア及び共通事項アをもとに設定する。B鑑賞の指導事項（1）のアでは、「音楽を形づくっている要素と曲想とのかかわり」を、共通事項のアでは、「楽器の音色」「旋律」「強弱」の3つの要素に焦点化を図り、それぞれの要素の特徴やそれらの要素同士がどのように関連し合っているのかを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じること」を指導内容とする。異なる場面の比較聴取や生徒の考えを交流させる活動を通して、より一層知覚・感受を深め、最後に本題材で学習した内容をいかして、教材曲を鑑賞し批評文を書くという流れで授業を構想した。

生徒は1学期に、「『水の戯れ』：ラヴェル作曲」の鑑賞を通して、旋律、強弱と曲想とのかかわりについて学習している。本題材では、「個々の楽器の音色の変化」や「複数の楽器の音色が混ざり合うことによって生まれるオーケストラの音色」にも焦点をあてたい。それぞれの場面で、オーケストラの各楽器がどのように用いられているのか、その音色や響きを左右するであろう各要素（旋律、強弱）の特徴とも関連づけてよりいっそう知覚・感受を深めさせたい。

そのために、まず「ブルタバ」の大きな特徴でもある、各場面（川の流れてつれて変化する風景や人々の生活など）を音楽でどのように表しているのか予想させながら聴き取ることで、生徒への興味関心を高めさせたい。

次に各場面での比較聴取などの活動を通して、「楽器の音色（響き）」や「旋律」「強弱」のそれぞれの要素の特徴を知覚し、それらがどのように関連し合っているのかそれぞれの場面を作り上げているのか感じ取らせたい。その上で、本題材で学習した内容を活かして「ブルタバ」をじっくり聴き味わい、根拠をもって「ブルタバ」のよさや美しさを言葉で批評させたい。

鑑賞の授業は、ともすると「聞いただけ」で終わってしまうことがある。「活動あって学び無し」から脱却するためにも、指導目標の明確化・焦点化が求められている。このことに留意することで、「指導内容の明確化と焦点化」が図られ、そのことが「評価規準の明確化と焦点化」につながっていくものと考えている。鑑賞授業における「観点別学習状況の評価」内、第2観点の「音楽的な感受」とは、音楽に対して「知覚すること・感受すること」である。「知覚すること」と「感受すること」は、音楽のよさや美しさを感じとる基礎的な能力であり、音楽科学習の中核をなすものといえる。教師は「知覚したこと」と「感受したこと」について、生徒一人一人の実現状況を的確に捉える事が大切になってくる。音楽的な諸要素のうち、どの要素について学習しているか把握することや、教師の発問・学習シートの工夫など、「指導内容の明確化と焦点化」を図ることで、生徒の興味・関心を高め、それを持続させることで「じっくり聴くことができる生徒」「より深く聴くことができる生徒」の育成を目指したい。

5 題材の評価規準

	観点1 音楽への関心・意欲・態度	観点2 音楽的な感受や表現の工夫	観点4 鑑賞の能力
題材 の 評価 規 準	楽器の音色、旋律、強弱のそれぞれの要素の特徴やそれらの要素同士の関連と曲想とのかかわりに関心をもち、意欲的・主体的に鑑賞しようとしている。	楽器の音色、旋律、強弱のそれぞれの要素の特徴やそれらの要素同士の関連と曲想とのかかわりを感じ取っている。	楽器の音色、旋律、強弱のそれぞれの要素の特徴やそれらの要素同士の関連によって生み出される曲想の変化を理解して聴き、そのよさや美しさを批評文として人に伝えている。
学習 活 動 に お け る 具 体 の 評 価 規 準	①楽器の音色、旋律、強弱のそれぞれの要素の特徴に関心をもち意欲的に鑑賞しようとしている ②楽器の音色、旋律、強弱の各要素同士の関連と曲想とのかかわりに関心をもち、主体的に鑑賞しようとしている。	①楽器の音色、旋律、強弱のそれぞれの要素の特徴を感じ取っている。 ②楽器の音色、旋律、強弱の各要素同士の関連と曲想とのかかわりを感じ取っている。	②楽器の音色、旋律、強弱のそれぞれの要素の特徴や各要素同士の関連から生み出される曲想の変化を理解して聴き、そのよさや美しさを批評文として書き表し伝えている。

6 題材の指導と評価計画（2時間扱い 本時2時間目）

時間	学習活動	具体的評価規準との関連	評価方法など
1	・「2つの水源からこの川は始まる」「光に輝きながら川幅を増す」「月の光を浴びて水の精が踊る」の場面において、曲想の違いが生み出される理由を、楽器の音色、旋律、強弱のそれぞれの要素の特徴からとらえる。	観点1－① 観点2－①	観察・生徒の発言内容 学習シート
2 本 時	・前時の確認をする ・「聖ヨハネの急流で水しぶきを上げる」の場面の曲想が生み出される理由を、楽器の音色、旋律、強弱の各要素同士の関連からとらえる。 ・本題材で学習したことをいかして、「ブルタバ」を通して鑑賞し、そのよさや美しさを批評文に書き表す。 ・まとめを行う	観点1－② 観点2－② 観点4－②	観察・生徒の発言内容 学習シート 批評文

7 本校の研究主題に関する取り組み … 全体総論7（4）に関わって

- 聴く
 - ・様々な形態で意見発表の場を設定する。
 - ・自分の意見を書き表し、それをもとにして堂々と発表する。
- もどす、つなぐ
 - ・既習事項をふまえ、根拠をもって自分の意見を書いたり、発表したりする。
 - ・学習シートに工夫を加え（選択肢やキーワードなど）自分の考えを簡単に表す。
 - ・生徒がポイントを絞って聴けるように、着目する要素を3点に絞り込む。生徒から出された各要素の特徴を整理する。
- 認める
 - ・発表や意見交換を通して、自分が気づけなかった要素の特徴や曲想とのかかわりに気づいたり、「ブルタバ」のよさや美しさについてさらに理解を深めたりする。
- 自信
 - ・学習シートへ自分の考えをしっかりと記入させ、自信をもって発表する。
 - ・今まで学習したことをふまえて、自分の言葉で批評文を書く。

8 指導と評価の展開

(1) 本時の目標

- 楽器の音色、旋律、強弱の各要素同士の関連と曲想とのかかわりに関心を持ち、主体的に鑑賞する。
- 楽器の音色、旋律、強弱の各要素同士の関連を感じ取る。
- 楽器の音色、旋律、強弱のそれぞれの特徴、各要素同士の関連によって生み出される曲想の変化を理解して聴き、そのよさや美しさを批評文として書き表し伝える。

(2) 本時の具体の評価規準と生徒の学習状況

学習活動における 具体の評価規準	おおむね満足できる状況であると 判断する具体的な状況例 (B)	Bのうち十分満足できる状況であると 判断する具体的な状況例 (A)
<p>【観点1-②】 楽器の音色、旋律、強弱の各要素同士の関連と曲想とのかかわりに関心を持ち、主体的に鑑賞しようとしている。</p>	<p>学習シートの課題に取り組み、自分なりの考えをまとめ、発表している。</p>	<p>学習シートの課題へ意欲的に取り組み自分なりの考えを詳しくまとめ、発表している。</p>
<p>【観点2-②】 楽器の音色、旋律、強弱の各要素同士の関連を感じ取っている。</p>	<p>「聖ヨハネの急流にさしかかり、水しぶきを上げる」の部分聴き、「楽器の音色」「旋律」「強弱」のうち2つを関連づけ、それによって受ける音楽の感じや曲想などを合わせて学習シートに記入している。</p> <p><記入例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・シンバルの音色が激しくて、強く演奏しているので、水しぶきをあげている感じに聴こえた。 ・ピッコロ(フルート・笛)の音色が鋭く、強く演奏しているので、川が激しく流れている感じに聴こえた。 ・ピッコロ(フルート・笛)の音色が鋭く、旋律は高い音で演奏しているので、川が激しく流れている感じに聴こえた。 ・ヴァイオリンの音色が激しく、強く演奏しているので、川が速く流れている感じに聴こえた。 ・ヴァイオリンの音色が激しく、細かいメロディを演奏しているので、川が速く流れている感じに聴こえた。 ・すごく低い音を、強く演奏しているので、迫力ある流れを表している感じに聴こえた。 ・高くて細かい音を、強く演奏しているので、川が速く流れている感じがした。 	<p>「聖ヨハネの急流にさしかかり、水しぶきを上げる」の部分聴き、「楽器の音色」「旋律」「強弱」のうち3つを関連づけ、それによって受ける音楽の感じや曲想などを合わせて学習シートに記入している。</p> <p><記入例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・シンバルの音色が激しくて、少し長く叩き、ffで演奏しているのもので、水しぶきをあげている感じに聴こえた。 ・ピッコロの音色が鋭くて、旋律では高い音が連続し、強く演奏しているため、波がバシャバシャと音を立てている感じに聴こえた。 ・ヴァイオリンの音色が激しく、細かいメロディが続き、すごく強く演奏しているため、水が速く流れているような感じに聴こえた。 ・コントラバス(チェロ・チューバ)は迫力のある音色で、旋律は低い音を、強く演奏しているため、水がゴーゴーと音を立てている感じに聴こえた。
<p><努力を要すると判断する生徒(C)への指導の手だての例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・2つの要素の関連に絞って取り組ませる。例:「楽器の音色」と「強弱」との関連について書かせる。 		
<p>【観点4-②】 楽器の音色、旋律、強弱のそれぞれの特徴、各要素同士の関連によって生み出される曲想の変化を理解して聴き、そのよさや美しさを批評文として書き表し伝えている。</p>	<p>「ブルタバ」のある一場面のよさや美しさについて、楽器の音色、旋律、強弱のうち、2つの要素の特徴を関連させながら、そこから生み出される曲想と合わせて、自分なりのイメージや感情、価値判断をもって記述している。</p>	<p>「ブルタバ」のある一場面のよさや美しさについて、楽器の音色、旋律、強弱の全ての要素の特徴を関連させながらそこから生み出される曲想と合わせて自分なりのイメージや感情、価値判断をもって詳しく記述している。</p>
<p><努力を要すると判断する生徒(C)への指導の手だての例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・記述のポイントを明確にし、そのポイントに沿って書くように指示する。 ・本時で学習した「聖ヨハネの急流にさしかかり、水しぶきを上げる」のよさや美しさについて書かせる。 		

(3) 第2時の展開

	ねらい・学習活動	具体的評価標準との関連	○留意事項 ☆評価	資料・教具
導入 5	1 前時の復習を行う		○前時に取り組んだ3場面の要素の特徴を想起させる。	前時の板書
	「楽器の音色」と「旋律」と「強弱」のそれぞれの関連を感じ取って音楽を聴き、『ブルタバ』のよさや美しさについて、自分の考えを書き表そう			
展開 40	2 「聖ヨハネの急流で水しぶきを上げる」の部分聴く。 ・楽器の音色、旋律、強弱の各要素同士の関連を感じ取って、気づいたことを学習シートへ記入する。 ・意見交流を通して、全体で確認する。	観点2-②	☆学習シート、生徒発言 ○楽器の音色、旋律、強弱以外の要素の特徴について書いている場合は、それも合わせて取り上げる。 ○生徒から出された意見を、教師側で整理しながら進める。 ○説明だけにならないよう、可能な限り音楽量（聴く時間）を確保する。	CD 学習シート
	3 学んだことをいかして「ブルタバ」を味わいながら聴き、批評文に書き表す。 ・「ブルタバ」を通して聴く ・自分の気に入った場面を一つあげて、そのよさや美しさを書く。	観点1-② 観点4-②	☆観察・学習シート ○気づいたところは、聴きながらメモをとってよいこととする。	CD 学習シート
	4 批評文を発表する。		○級友の発表を通し、「気づいたこと」や「なるほど」と思ったところはメモをとらせる。	学習シート
終末 5	5 まとめを行う。 ・本時の課題の視点から、学んだことをもう一度整理し他の学習へ生かすための参考にする。		○以下の部分をもとにしながら、教師がまとめる。 (例) ・普段聴いている音楽も、各要素同士が関連し合って作られている。視点を変えて聴いてみると、その音楽のよさや美しさがさらに見えてくる。 ・現在取り組んでいる学級合唱でも、各要素同士がどのように関連し合っているか、歌詞と各要素との関連も含めて確認し、それを意識しながら歌うことで、さらに深まりのある合唱となっていく。	